発行日：2020（令和2）年1月

ゆうこのおひさま通信

裕心会（ゆうしんかい） 会報

明けましておめでとうございます

昨年は、台風19号による被災やCSF（豚コレラ）などあり、大変な1年でした。今年は東京オリンピックも開催され、躍動の年となることでしょう。ぜひ皆様にとって穏やかな良い年になりますことをお祈りしております。

私も県議2年目の年となり、その自覚と責任を改めて感じております。皆様の思い、願いを県へつなぐと共に地域発展の力になりたいと頑張って参ります。本年もよろしくお願いいたします。来る2月25日には初めての一般質問を行います。応援よろしくお願いします。　「今年は私も年女、ガンバります。」

群馬県議会議員 大林裕子（ゆうこ）の活動報告

～だれもが笑顔でくらせるために～

委員会活動報告

厚生文化常任委員会（2019年10月2日）

Q 令和元年4月に施行された障害者差別解消条例についての取り組みについて伺いたい。

健康福祉部 **A** 条例のチラシ作成・配布、講演会を開催した。ヘルプマークの交付やDET研修(※1)などを行っており、今後も障害を理由とする差別の解消に取り組む。

(※1) **DET研修とは…**

障害のある方が講師を務め、障害とは何か、障害がどこにあるか等の気付きを目的とした研修です。

車いすユーザーの3名の方を中心に結成された「DET群馬」が講師となっております。

Disability Equality Training
（障害平等研修）

私もDET研修を受講しました！

障害のある方々と共生社会をつくるためには、障壁をなくそうという視点・意識をもつことだと思います。障害のある方にやさしい社会は、だれにとっても生活しやすい社会になると思います。

例えば、車イスにやさしい道路はベビーカーにもやさしい。見えづらくなれば、その障壁を除くためにメガネを使います。特別なことではないのです。

「DET群馬」の皆さんと山本知事を表敬訪問（2019.11.11）

防災・減災特別委員会（2019年10月4日）

Q 災害時に生活用水として井戸水を有効利用できると考える。市町村に災害時協力井戸の設置を働きかけていくべきではないか。

危機管理室 **A** 生活用水として井戸水を供給元と考えるのは極めて重要な観点。市町村防災担当者会議等の機会に意見交換し、取り組みたい。

井戸は 地震にも強く、汲み上げるポンプの中にはボタンひとつで手押しに切り替えられる物もあり、災害に強い特徴がある。

●ぐんま女性議員政策会議による知事要望に参加 （2019年11月25日）

県内の女性議員による要望は、福祉、教育、子育て支援、安心安全など、女性ならではの視点から身近な問題を提起しました。

●渋川市、吉岡町の連携協定の中での道路整備の要望活動に参加

（2019年12月16日）

吉岡バイパスの延伸とともに上武国道から伊香保へ向かう大久保上野田線の整備は義父・喬任、夫・俊一から受け継いだものです。

●CSF（豚コレラ）

昨年9月に発生した豚コレラ。山本県知事のすばやい対応で、ワクチン接種がいち早く行われ、緊急性の高い県西部地区から始まり、現在県内の全域で終了しました。地域によって始まっていますが、今後、子豚にも接種されます。

●吉岡川の河底土砂さらい、滝の沢川の樹木伐採

が行われています。災害に強い県土づくりのひとつです。

●高崎・渋川バイパス

2車線化が進んでおります。

令和2年度には完了する予定です。右折用信号も要望しています。

●デ・レイケ堰堤（えんてい）発掘参加

（2019年11月18日・19日）

明治時代初期にオランダ人技師の指導の下に造られた石積みの堰堤です。土砂でうもれた中から、みごとな堰堤が出現しました。

●船尾滝の整備

東屋付近の二つの橋の修理、伐木や滝の沢川に沿った遊歩道の整備を、渋川森林事務所で行っています。4月までに完成予定です。

●折り鶴を再生紙に

選挙中、皆様に折っていただいた折り鶴は広島県にある福祉作業所に寄贈させて頂きました。平和を願うハガキやレターセットに生まれ変わります。

皆様の声を県政に！気軽に声をかけて下さい。

2月25日 県庁議場にて一般質問します。応援お願いします。

公式HP　Facebook

発行者：大林裕子　〒370-3607 北群馬郡吉岡町小倉甲91　TEL.0279-54-3745　FAX.0279-54-0593